

水蒸気爆発の可能性がある箱根山について

2015年5月5日

箱根は東京近辺の観光地・保養地として有名なところ。最近水蒸気爆発がありそうだと大涌谷が閉鎖されました。気象庁は大涌谷付近では規模の小さな噴気などが突発的に噴出する可能性があるとして引き続き、自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らないよう注意を呼びかけています。大涌谷 名物の黒たまご、食べると7年間、長生きをするという……が買えず残念がっている観光客の姿がTVで放映されています。その箱根山、今から3000年前に大水蒸気爆発をおこし、その時に、現在の芦ノ湖が出来ています。箱根の水蒸気爆発可能性のニュースにふれ、日本は火山列島で出来上がっている国だと再認識されます。蔵王も要注意ですね……

3000年前に箱根で大水蒸気爆発が起きたころの日本はどんな時代だったのでしょうか?……日本は縄文時代の晩期、弥生時代の始まりの時期でした。気温が低下し漁労・採集生活が壊滅的で、人口が減少した時代でした。4000年前にピークだった26万人あまりの人口は、その後減少して、3000年前頃までに半減してしまうのです。それまで豊かな森の恵みを享受していた縄文人に食料危機が訪れたのです。今の人類は、過去幾多の生存を脅かされた状態を生き延びた子孫です。ご先祖様に感謝、感謝です。更に当時、既に稲作の始まっていた朝鮮半島と縄文人の交流がはじまっていたと思われ、稲作がその先の生き方を変えてゆきます。日本列島が寒冷化による食糧危機の真っ只中にあった3000年前頃、水田稲作は朝鮮半島の南端にまで到達していました。豊かで安定した食料を供給してくれる水田が、対馬からわずか50キロのところまでやってきていたのです。水田稲作というのは縄文人たちにとって未知の営みだったのです。実は3000年前頃から縄文人たちは、九州あたりから朝鮮半島南部までの海を越えていたことがわかってきています。対馬からほど近い韓国の慶尚南道や釜山広域市で、最近相次いで日本列島から縄文時代の人々が渡っていたことを示す痕跡が見つかっています。東三洞貝塚(とむさむどん)では大量の縄文土器と九州産の黒曜石が出土しています。朝鮮半島には独自の土器があり、そこで出土する縄文土器は、縄文人がやってきた確かな証拠品となるのです。

中国では最古の王朝、殷(現在の河南省安陽市あたり)の時代です。氏族を中心とする神権政治で、500年以上続いたといえます。オリент(西アジア・東地中海の世界)では都市国家が出来はじめ、現在のアルファベットを創始したフェニキア人はイベリア半島のアンダルシア、西ヨーロッパ最古の歴史を誇る町・カデイスなどを作っていました。

その後、200年ぐらいて、ギリシャに都市国家・ポリスが出来、同じころラテン系民族の都市国家・ローマが出来ています。今から5000年前、ナイル川の豊かな自然に囲まれたエジプトでは、古代エジプト第一王朝が政治的統一をはたし、その後、太陽暦が始まりました。高度な学問が生まれ、巨大な神権政治を支えました(エジプト文明)。同じく5000年前、ティグリス川とユーフラテス川に挟まれた肥沃な沖積平野にシュメール人によって都市国家が築かれメソポタミア文明が始まっています。

箱根山の過去1万年間の噴火活動をみると、マグマ噴火と水蒸気爆発が認識されています。マグマ噴火としては、約8000年前の神山山頂付近の噴火、約5700年前の二子山溶岩ドームの噴火があげられます。最後に発生したマグマ噴火は約3200年前の神山のものでこのときは、神山の北側が山体崩壊し、冠ヶ岳が形成されました。以降、水蒸気爆発として約3000年前、約2000年前、12世紀後半～13世紀の短い期間に3回の計5回が認識されています。

2015年に起きた箱根山の水蒸気爆発の話題は久しぶりの出来事です。突然噴火する可能性は低いと言われていますが注意深く見守りましょう。